

優秀賞（小学校高学年部門）

優しい和歌山県

和歌山大学教育学部附属小学校 六年 神保 妃那

和歌山市は交通手段として自家用車を利用している人が多くいます。その他の公共交通機関はバスやタクシー等です。でも、車に乗らない人は、バスやタクシーしかありません。バスは、行きたい所に停留所が無かったり、バスの本数が少なく、行く時も、帰る時も不便なことが多くあります。

私のお母さんも車に乗りません。バスが走っていない所に出かける時は、必ずタクシーに乗ります。バスで出かけても、帰りのバスが無い時もタクシーです。なので和歌山では、行動範囲が狭くなってしまいます。他府県や、他の国ではどのような交通機関があるのでしょうか。少し調べてみました。

私が気になったのは、ヨーロッパの「トラム」です。トラムは、最新技術を用いて、バリアフリー化、省エネ、低公害化を実現している乗り物です。また、床を低くノンステップにすることで、体が不自由な人や、お年寄り、ベビーカーの人も楽に乗降でき、人に優しい乗り物として多くの人が毎日の生活で利用しています。路面電車、またはトラムが走る車の道や路面電車停留場、電車までもあわせて都市と一体化するデザインで、トラムが町の新しい景色となるように工夫されている所もあるそうです。

私のトラムの印象は、レゴで作ったように色や形がオシャレだなと思いました。トラムが走ることによって、町もとってもきれいに見えます。そして、町のだれもが便利に出かけることができ、それによって車の利用が少し減ると、環境にも良くなり二酸化炭素削減ができます。そして、トラムの町の景色が観光にもつながれば、とてもすてきなことだと私は思います。このような町になればいいなと楽しく想像しています。